

特別企画展

文字の魅力 書の美

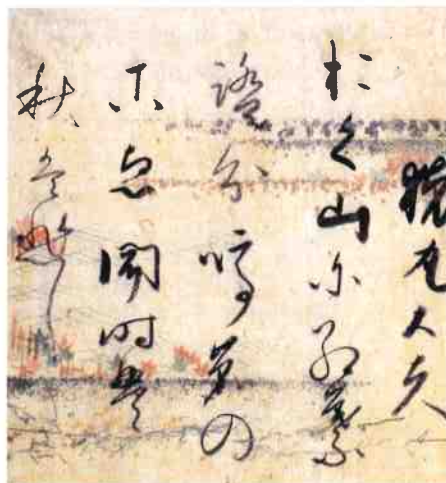


The Allure of Letters/
The Beauty of Calligraphy

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN



人々の
息吹を
感じる
文書や
書状、
写本や
写経、
個性的な
禅僧の
書や
寛永の
三筆の書
などを
展示



2020年

11月20日金 | 12月25日金

大和文華館 [奈良・学園前]

休館日 毎週月曜日(ただし、11月23日(祝)は開館し、翌24日(火)が休館) 開館時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時まで)
入館料 一般630円/高校・大学生420円/小学・中学生無料
※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料 ※障がい者手帳をお持ちの方ご同伴者1名2割引

◆日曜美術講座 12月20日(日)午後2時・講堂
「寛永の三筆の書と美意識」当館学芸部長 宮崎もも

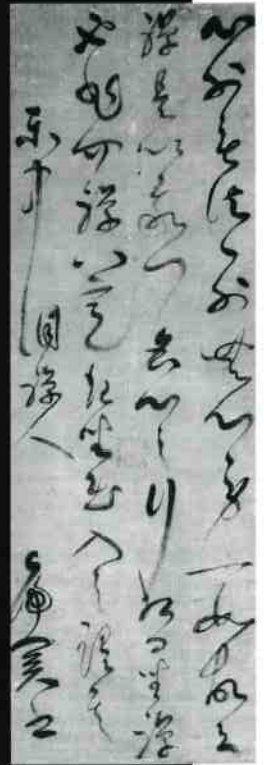
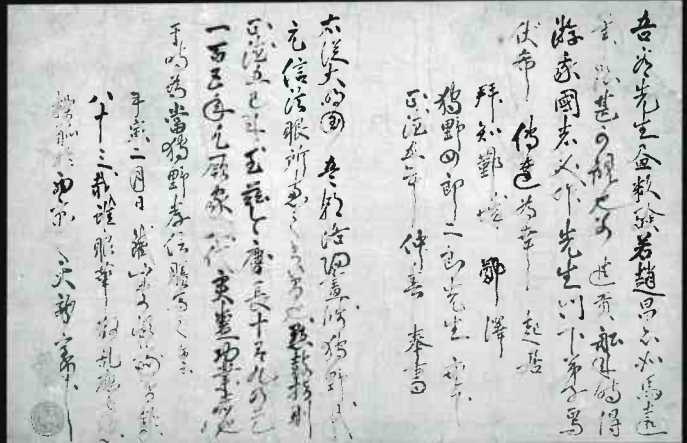
◆講座美術の窓 12月6日(日)午後2時・講堂
連続講座「北斎・神の領域に至らん」第4回「正まんじ」期1834~1849
(※3月8日開催予定だったものを延期して開催) 当館館長 浅野秀剛

◆スライドによる展覧会解説 毎週土曜日午後2時・講堂
当館学芸部による

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、人数制限をする場合があります。

上: 新古今集和歌色紙 本阿弥光悦筆 日本・慶長11年(1606) 大和文華館蔵
中: 繪原國房風 近衛信季筆 日本・徳山時代 澤林寺蔵
下: 百人一首色紙帖 松花堂昭乗筆 日本・慶長16年(1611) 八幡市立松花堂美術館蔵 頁替あり

文字の魅力・書の美



文字は、思いを人に伝えたり、重要な事柄を後世に伝えたりするためになくてはならないものです。美しく書かれた文字、「書」は古くより鑑賞の対象ともなり、愛でられてきました。また、文字はしばしば絵とともに表され、より深い世界が表現されてきました。本展観では、文字の深い魅力に満ちた文書や書状、写経や写本、書の美しさを究めた墨蹟や古筆、そして文字と絵が麗しく協奏する作品を展示します。

特集陳列では、桃山時代から江戸時代初期に活躍した書の名人で、寛永の三筆と呼ばれる近衛信尹、本阿弥光悦、松花堂昭乗の作品を展示します。腕をふるった鑑賞用の書や日常の顔をのぞかせる親しい人への書状には、寛永の三筆それぞれの特色があらわれています。特に鑑賞用の書には、書の個性を巧みに引き立てる装飾がなされた紙(料紙)が用いられており、料紙と書の見事なコラボレーションも見所です。

Beautifully written letters have since ancient times been appreciated and beloved. In addition, letters were at times depicted together with paintings to express an even deeper world. This exhibition displays works that are full of the deep allure of letters.

- 1 重要文化財
源氏物語浮舟帖
日本 鎌倉時代
大和文華館蔵
- 2 鄭沢尺牘
鉄山宗純筆
日本 桃山時代
大和文華館蔵
- 3 重要文化財
墨蹟法語
虎関師鍊筆
日本 南北朝時代
大和文華館蔵
- 4 墨梅図冊 汪士慎筆
中国 乾隆6年(1741)
大和文華館蔵

大和文華館

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN

(交通) 近鉄奈良線学園前駅下車、南出口より徒歩約7分、無料駐車場あり

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6

TEL(0742)45-0544 FAX(0742)49-2929

大和文華館 検索 @yamatobunkakan

